

<みよみよ はればれ まんなか>



美花果 便り



Vol.58

都筑の町のほほまんなかで

～その 58～

人生のゴールをどこで迎えようか？これは皆さん考えることだと思います。ご家族それぞれの事情がありますから、何が良いとは言えません。人生において、絶対はないのですから、当然その最期の時にも絶対はありません。これ以上回復の見込みがないとなった時に、残された時間をどこでどのように過ごすのか、これはなかなか難しい選択です。その身体的状況によって予後(残された時間)の予測は、医師から告げられますが、その通りに行くかどうかは神様しかわかりません。

そんな中で本人も家族も悩むわけですが、本人が選択できる状況であればそれに越したことはないのですが、大体は家族が決めることになり、家族といえども人の人生の最期を決めなければならない重圧は大変です。家族それぞれの生活と事情もありますし、皆さん当然、あちこちに相談します。

私はたくさんのそんな場面に立ち会い、相談を受けてきました。思うことは、悩むこと、悩む時間に大きな意味があると思うのです。なんでも簡単に答えを出したいと思うのは忙しい日々のなかで当然ではありますが、人ひとりの人生です、悩みましょう。悩むことが一番のプレゼントです。安直に答えは出さずに、悩んで、迷って、また悩む、そのご家族に寄り添うのが私たちの役割です。大丈夫です、たくさん悩んだらちゃんといいように最期のゴールは切れます。

「松田さんが言った通り、良いようになりました。」皆さんそうおっしゃいます。(＊^-＊) 松田

みよみよ看護

【訪問看護ステーション】



住所: 〒224-0033

横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-9-18

電話: 045-949-6277

FAX: 045-949-6278

メール: e-matsuda@ni-care.jp

ホームページ: <http://www.ni-care.jp/>

「看」という文字は、手をかざしてよく見るという意味合いがこめられています。

中国の禅僧が我々の中に存在する宝を見極めよ、という意味で「看看(みよみよ)」と叫んでいるところから名前をつけました。

皆様の心の中にある宝物を大切に、お家での生活を支えます。

【 ChatGPT 】



皆様、ChatGPTはご存知でしょうか？
最近、やたらと「ChatGPT使ってる？」という会話をよく聞くようになったので遅ればせながら、恐る恐る使ってみました！

びっくりしました！なんと便利な。。

少し前まではAIというとなんか難しそうなイメージだったのに、今では調べものから文章の下書き、ちょっとした相談まで相手をしてくれる存在になっています。

使い方は意外とシンプルで聞きたいことを、そのまま打つだけ。きれいな質問じゃなくてもいいし、途中で話がそれても問題ない。

もちろん、なんでも正しいわけじゃないですし、たまに自信満々で間違えるところも、少し人間っぽい。だからこそ、鵜呑みにするというより「一緒に考える相手」として使うのがちょうどいいのかなと思います。

ただ、ここまで便利だと『考える能力』が廃れる気がしないでもないですが、楽だからつい使っちゃいますね💧

この文章も ChatGPT で作っているかも (^▽^)

事務：小幡友子

「東風吹かば 匂いおこせよ 梅の花 あるじ無しとて 春な忘れそ」

有名な菅原道真の和歌です。

”京から太宰府へ左遷される事になったが、春になったら私はいなくても、庭に咲く梅の花よ、その香りを、東風に載せて届けておくれ。”

事務所の庭の梅の花も咲き始めました。梅の花はやがて来る春を楽しみに待ちたいと、寒さに凍える体の中に、小さな灯をともしてくれます。



～風に吹かれて～



毎年恒例の家族で元旦に初日の出を見に行きました。朝方4時に出発し大磯海岸に6時30分に到着し明るくなっていく瞬間をじっと待ちました。7時過ぎには日が昇り始め空が赤く染まり直視できないくらい明るくなってきました。願い事を心に浮かべながら新しい年の始まりを感じました。毎年見ておりましたが、感動、感動です！

皆様本年も宜しくお願い致します。

皆様の今年一年が素晴らしいものになりますようにとお願いしました

まんなかの太陽